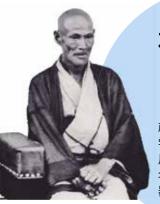
漆喰鏝絵

一挙にご紹介します。

国の重要文化財に指定された理由のひとつで もある、左官の名工「入江長八」とその一門によ り、手作業で壁や天井に施した漆喰鏝絵を紹介 します。



左官の名工 入江長八

松崎村(現松崎町)生まれ。12 歳で左官に弟子入り、19歳から 学んだ絵と彫刻を漆喰細工に応 用し、独自の方法を編み出して 名を馳せた。幼い頃から手先の 器用さは抜群だったという。



▶雀 ジョウダンノマの 西側には、遊ぶ雀たちが 何羽も描かれている。





▲しぼり壁 当時粋とされた鼠色の漆喰を使い、壁面が 湿っている状態で薄い布をかぶせ、つまんで描かれたも のと思われる。光により壁面の肌合いが変化し、見事。

≪窓 3つある窓のうち、本当の窓は右の1つだけ。あ との2つは全体のバランスから漆喰で描かれたもの。

ランプ釣元飾り

天井のランプを吊るす釣元には、様々な漆喰鏝絵が描かれています。直 接天井に描きながらも立体的に仕上げた見事な技術をご堪能ください。



◀牡丹 刀の鍔もしくは 松城家家紋「木瓜紋」の形 の額縁の中に、3輪の牡 丹の花が描かれている。



▶松竹梅 真ん中に配さ れた梅を竹が円形に囲い、 その周りに松が描かれて いる。

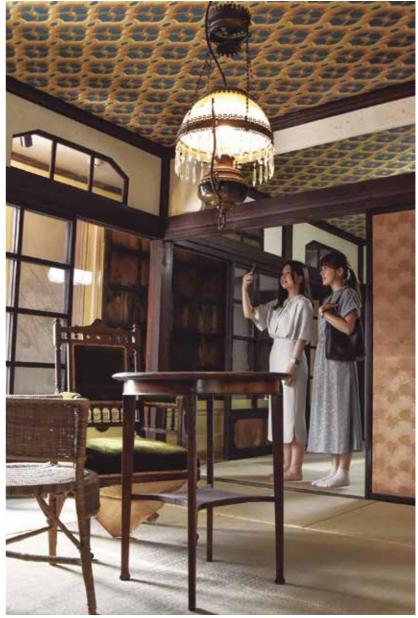
◀龍 円形額縁の中に龍 が描かれている。目玉は 左右金銀で色の異なるガ ラスでできている。



オススメその1

幾何学紋様の天井とシャンデリア

明治当初の輸入品でポルトガル製とされる紙が、4 部屋の天井一面にわたって貼られていて、見渡すと圧 巻です。アメリカ製オイルランプ式のシャンデリアが飾られ西洋の 雰囲気がありとってもおしゃれ。床は畳敷きであるなど、見て分か りやすい和洋折衷の部屋となっていて写真映え間違いなし。



オススメその2

えてもらいました。

バルコニーとオーダー型柱

擬洋風建築に代表され るバルコニー。現在は、 綺麗に修復されています が、当時は大工が見よう

みんなにオススメ!

明治モダンを体感しよう。

初めて訪れた2人に実際に足を運んで感じた、

行ったらぜひ見て欲しいおすすめポイントを教



見まねで作ったために脆く、何度も改造し た後に撤去されたそうです。また、漆喰で 西洋の彫刻柱を再現したオーダー型柱は、 横や後ろから見ると円柱ではないことが分 かります。白を基調としたバルコニーは、 屋内と同じように当時の西洋の雰囲気を感 じることができるかも。



オススメその3 漆喰鏝絵

左官の名工「入江 長八」が壁に施した漆喰鏝絵「雨 中の虎」。松城家住宅に施された作 品の中で一番細やかで、細部にわ たる技術は見事です。





